

令和3年度 佐賀県学習状況調査の結果（令和3年12月1、2日実施・4年生）

- ◎ 本資料では、東部小学校全体（各学年）の結果について考察しています。別紙にてお知らせしている、「お子様の個票（調査結果票）」や、後日配布します問題用紙及び解答用紙と併せて振り返っていただき、今後の学習に活かすことができるような資料としてお役立てください。

1 【国語】

(1) 結果（県の正答率との比較）

言語や情報に関する「知識・技能」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」については、到達基準（県の定めた期待正答率）を上回りました。

一方で、「読むこと」においては、正答率のみならず、到達基準も下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

知識・技能

- ・ 文献の引用の仕方、主語と述語の関係をよく理解しています。一方で、ことわざの意味理解、修飾と被修飾の関係の理解に課題があります。

話すこと・聞くこと

- ・ 必要なことを質問しながら聞くこと、目的に応じて必要な内容を記録することはよく理解しています。一方で、相手に伝わるように理由を挙げて話をする、目的を意識して、伝え合うために必要な事柄を選ぶことに課題があります。

書くこと

- ・ 集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にできています。一方で、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに課題があります。

読むこと

- ・ 叙述を基に文章の内容を把握することができています。一方で、文章の中心となる語や文を見付けて要約すること、段落相互の関係に着目しながら内容を把握すること、互いの感じたことや考えたことを理解し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことに課題があります。

2 【算数】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「知識・技能」、「図形」については、県平均正答率を上回りました。

一方で、「数と計算」「測定・変化と関係」「データ活用」は正答率も、到達基準も下回りました。

また、無解答率が、県平均と比べても2倍近く多かったです。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

数と計算

- ・ 概数に表してからの計算はでき、分配の法則についての理解はできています。一方で、小数の仕組みの理解、商に空位ができるときの除法の計算、問題に示された場面において立式することに課題があります。

図形

- ・ 円をかくための条件、角の大きさの見当については理解できています。また、三角定規の性質を使い特定の角度をつくることをできています。

一方で、角の大きさを記述式で説明することに課題があります。

測定・変化と関係

- ・ 小数の仕組みについては理解できています。一方で、時刻と時刻との間の量感をつかんで時間を考えることに課題があります。

データの活用

- ・ グラフや表を適切に読み取り、その結果や特徴を正しく説明したり、数量関係を割合で表したりすることに課題があります。